

くるみ

○新しい環境にもすっかり慣れ、元気に活動を行うくるみさんです。園庭やホールで思いっきり身体を動かしてあそぶことや友だちや保育士と会話を楽しみながら好みの玩具であそぶことを楽しんでいます。毎日、帰りの会で「一日の振り返り」「明日やりたい事」の二つを子どもたちに聞いています。初めに比べて楽しかった事やまた挑戦したい事など手を挙げて発表する事ができるようになっている子どもたちです。その中で出てきた「やりたい事」を次の日にみんなで行っていきます。みんなで話し合っ鬼ごっこの種類を決めようとしたり、どの順番であそびを行うのか順番を決めたりする様子が出てきました。今後も、自分たちで話し合おうとする姿を見守りつつ、話がうまくまとまらなかったり、困っていたりする時には仲介し、ヒントや意見を伝えながら自分たちで決められるようサポートしていきたいと思っております一年間ご家庭と共に見守っていただけたいと思いますので、よろしくお祈りいたします。

文責：井内



お花いつ咲かな〜と楽しみな子どもたちです！

さくらんぼ

○新しい環境に少し、緊張した様子もありましたが、今では笑顔で友だちや保育士と様々なあそびや活動を楽しむ姿が見られます。帰りの会では、楽しかったことや難しかったこと等を振り返り、「またやろう！」「次は、こうしてみよう」と人前で発表することに慣れたり、期待や自信を持ったりすることに繋がるようにしています。今月は、戸外あそびを楽しみ、色んな植物や虫を発見したり、たくさん身体を動かしたりし、楽しんでいます。室内では、友だち同士でLAQやカードゲーム等、好きなあそびを楽しむ姿が見られます。その中で、相手の思いを聞き入れて話をすることが、まだ難しい場面が見られるので、保育士が間に入りながらお互いが思いを伝えられるように見守っている所です。子ども達が楽しく過ごしていけるようご家庭と共に成長を見守っていきたく思います。何かあれば、いつでもご相談下さい。一年間、よろしくお祈りいたします。

文責：松田



先生のところまで、よーい.....どんっ！

きいちご

○新年度になり早くも1か月が過ぎました。4月はとにかくみんなで遊びながら、新しい環境や担任、友だちに慣れ、安心して生活できるようになることを目指して活動してきました。ホールでは手をつないで丸くなったり、簡単なルールのある遊びをしていくことで、友だちとの触れ合いや楽しさを味わっています。また、園庭で元気に走り回ったり、丸太スライスをめくって虫の様子を見たりして、春の気持ち良い空気をたくさん吸い込んで遊んでいます。先日、きいちご組での初めての工作遊びで、こいのぼりを作りました。作り方をよく聞いて目を描いたり、お花紙をまるめたりと真剣に作り進める姿がありました。5月も引き続き友だちと身体を動かしたり、戸外で遊んだりして気持ちよく過ごしながら、様々な活動を楽しんでいきます。

ご家庭とともにお子さんの成長を支えていきたいと思っております。1年間よろしくお祈りいたします。

文責：武石



築山に上って「やっほー！」

こじか・うさぎ

○新年度になり、クラスのメンバーは変わりませんが、お部屋の様子がガラッと変わった未満児クラス。初めは戸惑いもあったようですが、好きな遊びを思い切り楽しめる環境を喜んでいました。こじかさんは進級したことで少し緊張感もありましたが、保育者と安心して過ごすことで、友達へと気持ちが向き、関わりが増えてきています。約束事を確認しながら生活のリズムも整えていきました。うさぎさんは、こじかさんのあとをマイペースに追いかけていますが、やってみたい気持ちが強く、小さいながらも張り切っている姿がかわいらしいです。園庭や散歩先では、築山を登って下りてを繰り返して、排水溝をじーっと覗いていたと思ったら、テントウムシを見つけて目で追ったり、白いお花を摘んでみたり…いろいろな発見をしているようです。初めての制作あそびでは、思いのままに満足するまで「なぐり書きとシールはり」を楽しみました。それがこいのぼりとなり大喜び。持ち帰りを楽しみにしているようです。今年度は各クラスではなく、未満児チームとして活動していきます。職員も一丸となり、クラス運営をしていきますので、年間どうぞよろしくお願いたします。



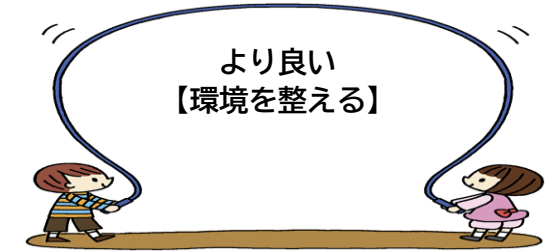
文責：畠山



おえかき、楽しいね！

一緒にのぼろう!!
がんばれ、がんばれ!!

☆未満児クラス全員で保育を行っています。当面の間は、クラスの様子を合わせてお伝えします。



「支援」「手立て」の言葉の意味について考えてみたいと思います。子どもに達に関わる場面でよく聞く言葉であり私たちもよく保育の中で使用します。

まず、辞書で調べてみると【支援】は他人を助けること・援助【手立て】は目的を達成する方法・手段と書いてありました。

どちらも「特別」「助ける」という意味合いが強い印象を受けますが、実際どのような意味で使っているか振り返ってみると【その人がわかりやすいように、やりやすいように環境を整える】というのがしっくりくるかと思えます。環境を整えることは全く特別なことではありません。『視力が悪いので眼鏡をかける』『足が悪いので杖や車イスを使う』と同じように、字が読めないののでイラストや写真で伝えてみる、境界線が分からないので線を引く。買い物の際は忘れないようにメモを見ながらという方、いらっしゃいますよね？

【環境を整える】という意味で「支援」や「手立て」を見直してみると、意外と私たちの身近にあって、それがあって大人も快適に生活が送れているのかもしれない。

子ども達に一人ひとりに合った【環境を整える】ために必要な手立ては、十人十色。目に見えるもの、見えないもの、手立ての形もそれぞれですね。



個人情報保護の観点から、ご家庭でのみご覧ください。SNSインターネットへの掲載はご遠慮ください。

各クラスの活動の様子がわかる写真を掲載しています。ご理解の程よろしくお願いたします。